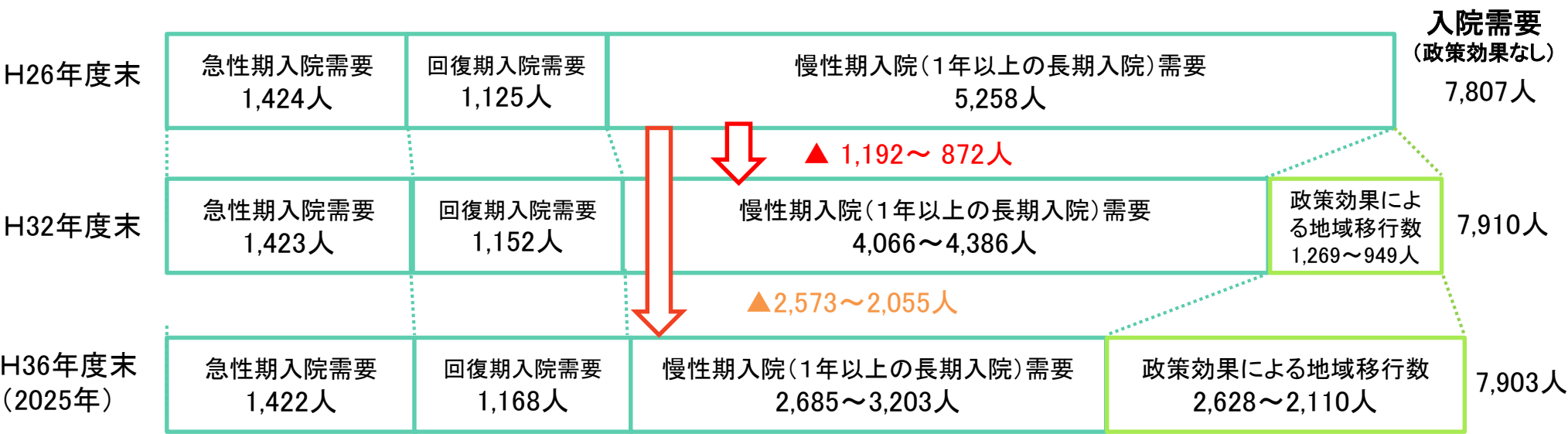


# 【参考】精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた目標設定（熊本県）

- 政策効果を見込まない将来の入院需要を推計し、①「地域移行を促す基盤整備」、②「治療抵抗性統合失調症治療薬の普及」、③「認知症施策の推進」による政策効果を差し引いて、入院需要の目標値を設定



## 平成36年度末(2025年)までの政策効果の見込みの内訳

政策	地域移行する長期入院患者数の見込み(政策効果)	人数
① 地域移行を促す基盤整備	継続的な入院治療を要する長期入院患者(認知症除く)以外(長期入院患者(認知症除く)の30~40%)	1,652~1,240人
② 治療抵抗性統合失調症治療薬の普及	継続的な入院治療を要する長期入院患者(認知症除く)の25~30%	746~715人
③ 認知症施策の推進	認知症による長期入院患者の13~19%	230~155人

第5期障害福祉計画(平成32年度末)における設定予定値

α	0.80~0.85で設定した値 ①	β	0.95~0.96で設定した値 ②	γ	0.97~0.98で設定した値 ③
	0.85		②:0.96		③:0.98
			② <sup>3</sup> ÷ 0.95		③ <sup>3</sup>
			(0.96) <sup>3</sup> ÷ 0.95 = 0.93		(0.98) <sup>3</sup> = 0.94

合計 2,628~2,110人